

(注意事項)

- ・ 会計監査人設置会社のみ申請可能です。

[建設機械の保有状況]

11 建設機械の保有状況について (項番 5 6)

① 建設機械の保有状況一覧表 (府様式第 3 号)

※平成 30 年 4 月 1 日より評価対象となる建設機械の範囲 (大型ダンプ車) が拡大されました。

詳しくは 42・43 ページを参照してください。

記載要領を参考に作成してください。

「建設機械の名称」欄には、P43 の表記載の名称を記載してください。

「メーカー名」欄には、製造メーカー名を記載してください。

外国メーカーの場合は、英字等を () 書きで記載ください。

(様式第 3 号)

建設機械の保有状況一覧表

通番	建設機械の名称	メーカー名	型式 年 式	車体番号 機 番	その他	所有又は リースの状況	購入日・リース契約期間	リース期間自動 更新条項の有無
1	ショベル系掘削機	OO	000-000	321	バックホウ	記名・リース	H19.11.1~	有・無
2	ブルドーザー	OOO	ABC000-000	123456	3.3 トン	所有・リース	H21.4.1~H24.3.31	有・無
3	トラクターショベル	OOOO	2000-0	222222	0.5 m ³	所有・リース	H22.11.1	有・無
4						所有・リース	~	有・無
5						所有・リース	~	有・無
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								

以下
上の形

自動更新

令和元年 7 月 7 日

高号又は名称 OOOO 建設 株式会社
代表者名 OO OO (印)

「その他」欄には、次のとおり記載します (P43 記載の範囲内のものに限る)。

ア ショベル系掘削機は、アタッチメントの種類 (ショベル、バックホウ、ドラグライン、クラムシエル、クレーン又はパイルドライバー) を記載する。

イ ブルドーザーの場合は、自重を記載する。

ウ トラクターショベルの場合は、バケット容量を記載する。

エ 移動式クレーンの場合は、つり上げ荷重を記載する。

オ 大型ダンプ車の場合は、車両総重量又は最大積載量の基準を満たしているどちらかを記載する。

カ モーターグレーダーの場合は、自重を記載する。

- ・ 誓約部分は、リース契約書において審査基準日から 1 年 7 か月以上の使用期間が定められていない建設機械について、自動更新条項を適用し、審査基準日から 1 年 7 か月以上の期間、使用する場合に記名・押印する。

(例)

審査基準日 H30.7.31

リース契約期間 H28.4.1 ~ H31.3.31 / 自動更新条項「有」の場合

⇒ 審査基準日から、1 年 7 か月以上の使用期間がない。

⇒ 下欄の誓約が必要。

(注意事項)

- ・ 規則様式第 25 号の 11 別紙 3 (その他の審査項目) の建設機械の保有状況において、1 台以上の保有台数を計上した場合に当該書類を添付してください。様式については 91 ページをご覧ください。
- ・ その他建設機械の保有については、43 ページの「建設機械の保有の有無に係る取扱い」をご覧ください。